

施策番号 5-1-2	施策名 住民自治の実現と地域の活力の維持	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり			
		政策名	多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり			
	主管課	魅力創造課	課長名	西田昌樹	内線	231
	施策関係課	政策推進課・総務課・都市経営課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果
地域の活力を維持し、住民自治を実現させ、より良い地域づくりをすすめます。		町民 町に愛着や誇りを持ち係る人		・町に愛着や誇りを持ち、地域のために活動する				まちづくりに係る人が増えることで地域の活力を維持する
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 地域の活動に参加している町民の割合	住民意識調査	%	45.7	49.2	40.0	47.5	55.0	
② 芽室町が好きな町民の割合	住民意識調査	%	96.8	93.0	92.6	95.0	95.0%以上	
③ 芽室町に住み続けたいと思う町民の割合	住民意識調査	%	95.8	94.4	92.9	95.0	95.0%以上	
④								
成果指標設定の考え方	①策定時の値+10ポイントを目標に設定した。 ②策定時の値が非常に高いことから、その値を維持することを目標とした。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ③策定時の値が非常に高いことから、その値を維持することを目標とした。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	132,434	121,216	172,002
人工数(業務量)	1.9042	3.1422	2.8458

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input checked="" type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	コロナ禍により①の活動低下、活動の低下に伴って②③の意識も低下したものと想定する
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	コロナ禍による多くの事業の停滞により、成果指標についてはこのままでは今後も下っていく傾向にあると思われる。そのため、新たな取り組みを実施し目標達成を目指す。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	事業全体を通してコロナ禍において、町民の方との対面した協働の機会ほとんど失われ、必要最低限の活動が多く、結果として成果は低下している状況にある。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
				○	

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
- E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 人口減少が進むなかで、住民自治の重要性はますます高くなっているが、多様化している。地域活動や集団活動を好まない人たちも増えている。</p> <p>《今後の予測》 コロナ禍をきっかけに集団活動を避け、個人活動を好む傾向が強まることが想定されるが、住民による郷土愛を育んでいくことが、最終的には住民自治の実現と地域の活力維持につながると考えられることから、町民活動の核となる町内会活動及び町民活動支援センターと町の協働により、自治のまちづくりの基礎づくりを進めていく必要がある。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の未加入世帯対策が必要である。 ・地域集会施設については、住民合意をとりながら進める必要がある。 ・シティプロモーションの考え方を理解してもらう必要がある。

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・町内会活性化のため、市街地町内会連合会と町が協働した取り組みを推進する。 ・災害に強いまちづくり、地域活動の活性化を勘案した地域集会施設の再整備を継続して進める。 ・シティプロモーション計画に基づく事業を実施し、郷土愛、自治のまちづくりを進める。
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、変わらないと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果				○
今後の取組に対する意見	町内会活性化について、市街地町内会連合会と協働して意見集約・分析を行う必要がある。また、多様な町民自治のあり方について分析することも必要である。	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した 				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEを用いた町内会アンケートの実施は、進んでいて、町民と向き合っている点で評価できる。 ・(成果指標は)コロナで苦戦したところとは思うので、「D変わらない」と評価する。 	A	B	C	D	E
		進捗結果				○
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標①の住民意識調査の設問は、地域活動の範囲を示し、個人でごみ拾いを行った場合や団体として参加するものも地域の活動になるのかなど、分かりやすく答えやすくなる工夫が必要ではないか。 ・中央公民館を「活動目的がなくても立ち寄りよりたくなる」場所にできると魅力的な場所になるのではないか。そのためにも公民館内外の環境整備が大事だと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した 				